

土砂災害編



■土砂災害に注意しよう

わが国には 1).約2万か所の地すべり 2).約8万か所の斜面崩壊(山崩れやがけ崩れなど) 3).約7万か所の土石流危険地帯があります。これらの地域は台風や集中豪雨・地震によって大きな被害を受けることが考えられますので、地域ぐるみで十分な注意をしましょう。

■土砂災害の種類

【土石流】



土石流は谷筋で起き、山の斜面や谷底の石や土砂が雨水と一緒に流れ下ることです。早く大きな破壊力を持ち、住宅や田畑を一瞬で破壊します。

- (前ぶれ)
- 川の水が濁ったり、流木が混ざりはじめる
 - 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
 - 山鳴りがする

【がけ崩れ】



地中に染み込んだ水によって抵抗力が弱くなった斜面が突然崩れ落ちることです。突発的に瞬時に崩れ落ちるため、避難が遅れがちになります。

- (前ぶれ)
- がけに亀裂が入る
 - 小石がパラパラ落ちてくる
 - がけから水が湧き出ている

【地すべり】



地下水などの影響で、緩やかな斜面がゆっくりとずり落ちるように移動することです。一度に広範囲の地盤が動き出すので発生すると大きな被害をもたらします。

- (前ぶれ)
- 地面にひび割れが起きる
 - 斜面から水が吹き出す
 - 沢や井戸の水が濁る

■こんな「がけ」は危ない

- 崩れそうな土地がある
- 雨が集中して流れるところがある
- 勾配が 30 度以上、高さ 5m 以上のがけである
- 斜面に亀裂がある
- わき水が出ている
- 不安定な岩や土のかたまりがある



■梅雨や台風の時期には十分警戒を

がけ崩れのほとんどは、梅雨や台風の時期に発生しています。長雨や大雨により地面に大量の水がしみ込み、弱くなった斜面が崩れるためです。

地域によって異なりますが、1 時間に 20 ミリ以上、または降り始めから 100 ミリ以上の雨が続いたら、がけ崩れの危険が高いとされています。長雨や大雨の降りやすい、梅雨や台風の時期には十分な警戒が必要です。

※ 前ぶれを見たり、聞いたりしたら、できるだけ早く避難するとともに、市へのご連絡をお願いします。

